

なつのおてがみ

2017年 1・2年

たのしいなつやすみがはじまるね！
としょかんのひとが、みんなによんでほし
いほんをあつめました。
としょかにきてね!!



とんだばやししりつとしょかん
富田林市立図書館

『オムライスのたまご』

—たべもののおはなし・オムライス—
森 絵都／作
陣崎 草子／絵
講談社



たまごはたくさんのゆめをもってうまれてきます。目玉や
き・オムレツ・プリンと、いろいろですが、なかでも1ばんに
んきはオムライス。タマキもオムライスにあこがれていました。
ゆめをかなえるためにたびにでたタマキは、レストランでオム
ライスになるためのオーディションをうけることになります。



『プーのはちみつとり』

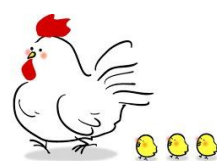
A. A. ミルン／文 E. H. シェパード／絵 石井 桃子／訳 岩波書店

ある日のこと、プーは大きなカシの木からブンブンという音がするのに気が
つきました。そのブンブンという音がミツバチの音だとわかると、プーは、ミ
ツバチのみつを食べるために木に登ります。でも、うまくいきません。そこで、
クリストファー・ロビンにたのんで風船をもらいます。プーはうまくはちみつ
をとれるのでしょうか？



『にわとり城』

松野 正子／作 大社 玲子／絵 こぐま社



むかしむかし、のろまだけどこころのやさしいむすこがいました。おひやくし
ょうが死んだあと、せわをしていた1わのめんどりとたびにでることになりまし
た。むすこは、まっくらな森で夜のまものがだすなぞなぞに、らくらくとこたえ
ていたのですが、めんどりが食べられそうになり……。さあ、むすことめんどり
はどうなるのでしょうか。

『のぞいてみよう！ いろいろなのりもの』

まつしま こういちろう／著 JTBパブリッシング



パトカーに消防車、ひこうきもか
っこいいよね。みんなが好きなはた
らくのりものがたくさんでくる
よ。あれ、いつもみているのとなん
だがちがう。中がみえていて、ポン
プ車のポンプやひこうきのコックピ
ットものぞけるよ。よく知っている
のりものの仕組みがかかれていて、
中がどんな風になっているかわかり
ます。

『うおいちば』

安江 リエ／ぶん
田中 清代／え
福音館書店



きよのかぞくは、うおいちばで“なかおろし”というしごとをして
います。うおいちばには魚屋、すしや、レストランの人たちがやって
きて、“なかおろし”から魚を買います。さまざまなきよがいるいがと
りひきされるうおいちばで、きよはおばあちゃんのこうぶつのキンメ
ダイをさがします。うまくみつけれられるかな。

『おしいポケット』

—ウォンバットのあかちゃん—
ゆうき えつこ／文
福田 幸広／写真
そうえん社



「ひらぺったい鼻」という意味の名前がついたウォンバ
ットは、世界中でオーストラリアにだけすんでいます。コアラ
やカンガルーのように、子どもをお腹のふくろの中でそだて
ますが、ポケットの入り口が後ろ向きだから、子どもが顔を出
すとおかしくなっちゃうんです。ウォンバットの子どもの顔がひとり
立ちするまでをえがいた科学絵本です。

『あぶくたった』 —わらべうたえほん—

さいとう　しのぶ／構成・絵
ひさかたチャイルド



あぶくたった にえたった にえたかどうか たべてみよ むしゃむしゃむしゃ まだにえない。あずきをにている、ねずみのおかあさんがうたいます。さんびきのこねずみがやってきて、いっしょにうたいます。あぶくたった にえたった。かぞくみんながそろったとき、もうにえた！あまくておいしいおしるこのできあがり！

『はちみつ』

ふじわら ゆみこ／文
いせ ひでこ／絵
福音館書店



わたしのおとうさんは、はちみつをとるしごとをしています。みつばちのすばこをおいているやまへいくと、いま、トチのはなのまっさかり。たくさんのはなのみつをすったみつばちが、おもそうなおなかをかかえてすばこへかえってきます。すばこのなかのはちみつを機械きかいにかけるとあまーいはちみつのできあがり。

『ジャック船長とちびっこかいぞく』

ピーター・ベントリー／文
ヘレン・オクセンバリー／絵
やました はるお／訳
BL出版



ジャックたち3人は、すなはまでかいぞく船をつくっています。ふなばたをもりあげ、いっしょうけんめいはたらきます。メインマストにぼうをよういして、マストのはたはよだれかけ。3つのバケツのたいほうをつければできあがり。さあ、陸地をはなれ、見知らぬ海へと出発です。ちびっこかいぞくのぼうけんのはじまりです。

『ねずみのおよめさん』 にほんむかしばなし —日本の昔話—

小野 かおる／再話・画 福音館書店



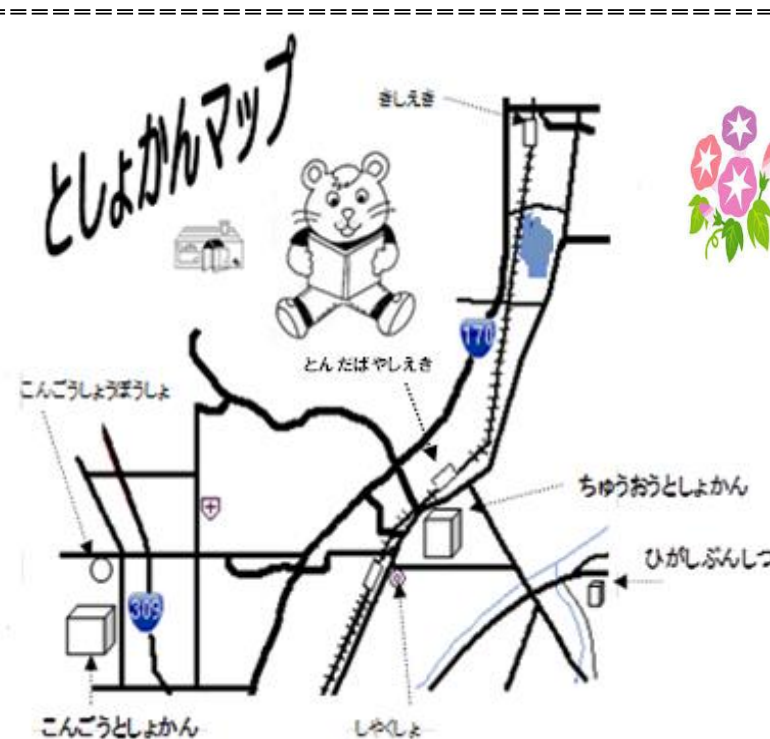
むかし、うつくしいねずみのむすめがいました。ねずみの
おとうさんとおかあさんは、むすめをせかいでいちばんえらい
ものと、けっこんさせたいとおもいました。そこで、おひさん
に、けっこんのもうしこみにいきました。ところがおひさんは、
「もっとえらいものがあるよ。」といいました。むすめはだれと
けっこんするのでしょうか？

『かめ』 — 甕 — (カオス・シチリア物語より)

飯野 和好／作 ビリケン出版



むかし、あぶらやどんごえもんが、な
たねあぶらをいれるおおきなかめをつ
くらせた。そのかめがまっふたつにわれ
てしまったので、かめをな^{めいじん}おす名人とん
じろうがよばれた。どんごえもんはとん
じろうのな^{もんく}おしかたに文句をつけはじ
める。とんじろうはしかたなくかめのな
かへはいりながらなおしていると…。で
きました。やや！とんじろうがかめから
でられません。



『くじらだ！』

五味 太郎／作 岩崎書店



わたりどりがみずうみのうえにきて、なにかにきづきました。そして、このむらいちばんのたかいやねのてっぺんにとまり、おおきなこえでさげびました。「くじらだあ！」ところが、だれもくじらをしりません。しかし、くじらがたべられることをするとむらのひとたちはくじらをつかまえにみずうみへむかいました。